設計図書作成要領

【事前指導、当初許可申請、当初届出】

添付順序	図書の名称	宅地造成等	土石の堆積	明示すべき事項	縮尺	備考
1	位置図	○	○	1　方位 2　道路 3　目標となる地物	1/10,000以上	
2	地形図	○	○	1　方位 2　土地の境界線（施行範囲の外周を赤枠で囲む）	1/2,500以上	等高線は、二メートルの標高差を示すものとすること。
3	土地の平面図	○		1　方位 2　土地の境界線（施行範囲の外周を赤枠で囲む） 3　盛土（青色で着色）又は切土（赤色で着色）をする土地の部分 4　崖、擁壁、崖面崩壊防止施設、排水施設、及び地滑り抑止ぐい又はグラウンドアンカーその他の土留の位置	1/2,500以上	断面図を作成した箇所に断面図と照合できるように記号を付すること。 植栽、芝張り等の措置を行う必要がない場合は、その旨を付すること。 擁壁、崖面崩壊防止施設及び排水施設については、申請書と照合できるように番号を付すること。
			○	1　方位 2　土地の境界線（施行範囲の外周を赤枠で囲む） 3　勾配が十分の一を超える土地における堆積した土石の崩壊を防止するための措置を講ずる位置及び当該措置の内容 4　空地の位置、柵その他これに類するものを設置する位置、雨水その他の地表水を有効に排除する措置を講ずる位置及び当該措置の内容 5　堆積した土石の崩壊に伴う土砂の流出を防止する措置を講ずる位置及び当該措置の内容	1/500以上	断面図を作成した箇所に断面図と照合できるように記号を付すること。 空地、雨水その他の地表水による堆積した土石の崩壊を防止するための措置及び堆積した土石の崩壊に伴う土砂の流出を防止する措置については、申請書と照合できるように番号を付すること。
4	土地の断面図	○		1　盛土又は切土をする前後の地盤面 2　盛土（青色で着色）又は切土（赤色で着色）をする土地の部分	1/2,500以上	高低差の著しいところについて作成すること。（盛土で高さが1m超の崖を生ずるもの、切土で高さが2m超の崖を生ずるもの、盛土と切土を同時に行い高さが2m超の崖を生ずるもの又は盛土で高さが2m超となるもの）
			○	1　土石の堆積を行う土地の地盤面	1/500以上	
5	排水施設の平面図	○		1　排水施設の位置 2　種類 3　材料 4　形状 5　内のり寸法 6　勾配 7　水の流れの方向 8　吐口の位置及び放流先の名称	1/500以上	
6	崖の断面図	○		1　崖の高さ 2　勾配 3　土質（土質の種類が二以上であるときは、それぞれの土質及びその地層の厚さ） 4　盛土又は切土をする前の地盤面 5　崖面の保護の方法	1/50以上	擁壁で覆われる崖面については、土質に関する事項は示すことを要しない。

添付順序	図書の名称	宅地造成等	土石の堆積	明示すべき事項	縮尺	備考
7	擁壁の断面図	○		1　擁壁の寸法及び勾配 2　材料の種類及び寸法 3　裏込めコンクリートの寸法 4　透水層の位置及び寸法 5　擁壁を設置する前後の地盤面 6　基礎地盤の土質 7　基礎ぐいの位置、材料及び寸法	1/50以上	
8	擁壁の背面図	○		1　擁壁の高さ 2　水抜穴の位置、材料、内径 3　透水層の位置及び寸法	1/50以上	
9	崖面崩壊防止施設の断面図	○		1　崖面崩壊防止施設の寸法及び勾配 2　崖面崩壊防止施設の材料の種類及び寸法 3　崖面崩壊防止施設を設置する前後の地盤面 4　基礎地盤の土質 5　透水層の位置及び寸法	1/50以上	
10	崖面崩壊防止施設の背面図	○		1　崖面崩壊防止施設の寸法 2　水抜穴の位置、材料及び内径 3　透水層の位置及び寸法	1/50以上	水抜穴及び透水層に係る事項については、必要に応じて記載すること。
11	（擁壁の） 構造計算書	備考に該当する場合		1　擁壁又は崖面崩壊防止施設の概要 2　構造計画 3　応力算定 4　断面算定		・鉄筋コンクリート造、無筋コンクリート造の擁壁を設置する場合 ・崖面崩壊防止施設の場合
12	（地盤の） 安定計算書	備考に該当する場合		1　土質試験その他の調査又は試験に基づく地盤の安定計算		・渓流等の土地において高さが15ｍを超える盛土をする場合 ・別途審査基準で定める安定計算が必要な場合
13	（地盤の） 安定計算書	備考に該当する場合		1　土質試験その他の調査又は試験に基づく地盤の安定計算		土質試験その他の調査又は試験に基づき地盤の安定計算をした結果崖の安定を保つために擁壁の設置が必要でないことが確かめられた崖面である場合
14	（構台の） 構造計算書		備考に該当する場合	1　措置の概要 2　構造計画 3　応力算定及び断面計算等		土石の堆積を行う面（鋼板等を使用したものであって、勾配が10分の１以下であるものに限る。）を有する堅固な構造物、又は、堆積した土石の滑動を防ぐため又は滑動する堆積した土石を支えるための構造物を設置する場合
15	（鋼矢板等の） 構造計算書		備考に該当する場合	1　措置の概要 2　構造計画 3　応力算定及び断面計算等		堆積した土石の周囲にその高さを超える鋼矢板等を設置する場合
16	（地盤の） 安定計算書		備考に該当する場合	1　土質試験その他の調査又は試験に基づく地盤の安定計算		堆積した土石を防水性のシートで覆うことその他の堆積した土石の内部に雨水その他の地表水が浸入することを防ぐための措置をし、かつ、堆積した土石の土質に応じた緩やかな勾配で土石を堆積することその他の堆積した土石の傾斜部を安定させて崩壊又は滑りが生じないようにするための措置をする場合

【変更許可申請、変更届出】

・当初許可申請から内容が変わった図書の全てについて作成する。

・変更計画図面については、変更計画のみ記載すること。

・新旧対照図面については、当初計画を黄色、変更計画を赤色にて着色すること。

【中間検査申請】

・当初許可申請図面に、中間検査対象施設を赤色で着色すること。